

2016年業績

著書

1. 松原 貴子, 牛田 享宏
疼痛. 加藤明彦・他 (編)
透析患者診療に役立つ診断と重症度判定のためのアプローチ
日本メディカルセンター. 50-52, 2016.6
2. 松原 貴子
痛みのリハビリテーション. 日本疼痛学会 (編)
痛みの集学的診療: 痛みの教育コアカリキュラム
真興交易. 153-168, 2016.10
3. 松原 貴子
慢性疼痛患者への具体的な運動指導法. 池本竜則 (編) 慢性疼痛診療ハンドブック
中外医学社. 244-263, 2016.12

原著 (英文)

1. Tanahashi M, Motomura E, Inui K, Ohoyama K, Tanii H, Konishi Y, Shiroyama T, Nishihara M, Kakigi R, Okada M. Auditory change-related cerebral responses and personality traits. *Neurosci Res.* 103:34-9,2016
2. Miyagawa H, Ikemoto T, Honjo H, Akao M, Tsujimoto T, Ushida T. One-year results of voluntary-based supervised exercise or treatment at orthopedic clinic for radiographic severe knee osteoarthritis. *J Phys Ther Sci.* 28(3):906-10,2016
3. Arai YC, Kawanishi J, Sakakima Y, Ohmoto K, Ito A, Maruyama Y, Ikemoto T. The Lateral Position Improved Airway Patency in Anesthetized Patient With Burn-Induced Cervico-Mento-Sternal Scar Contracture. *Anesth Pain Med.* 6(2):34953,2016
4. Arai YC, Kawanishi J, Sakakima Y, Ohmoto K, Ito A, Maruyama Y, Ikemoto T. Severe Respiratory Event Initially Thought to be Inadvertent Endobronchial Intubation: Possible Complications From Using of a Topical Metered-Dose of 8% Lidocaine Pump Spray. *Anesth Pain Med.* 6(3):33771,2016
5. Ushida T, Shibata M, Kitahara M, Yabuki S, Sumitani M, Murakami T, Iseki M, Hosoi M, Shiokawa H, Tetsunaga T, Nishie H, Fukui S, Kawasaki M, Inoue S, Nishihara M, Aono S, Ikemoto T, Kawai T, Arai YC. The Effect of Guidance regarding Home Exercise and ADL on Adolescent Females Suffering from Adverse Effects after HPV Vaccination in Japanese Multidisciplinary Pain Centers. *Pain Res Manag.* 2016:3689352,2016

6. Hayashi K, Ikemoto T, Ueno T, Arai YC, Shimo K, Nishihara M, Suzuki S, Ushida T. Higher pain rating results in lower variability of somatosensory cortex activation by painful mechanical stimuli: An fMRI study. *Clin Neurophysiol.* 127(4):1923-8,2016
7. Ikemoto T, Inoue M, Nakata M, Miyagawa H, Shimo K, Wakabayashi T, Arai YC, Ushida T. Locomotive syndrome is associated not only with physical capacity but also degree of depression. *J Orthop Sci.* 21(3):361-5,2016
8. Inagaki H, Sato J. Air puff-induced 22-kHz calls in F344 rats. *Physiology & Behavior.* 155:237-241, 2016
9. Habuchi H, Ushida T, Habuchi O. Mice deficient in N-acetylgalactosamine 4-sulfate 6-O-sulfotransferase exhibit enhanced liver fibrosis and delayed recovery from fibrosis in carbon tetrachloride-treated mice. *Heliyon.* 2(8):e00138,2016
10. Takura T, Shibata M, Inoue S, Matsuda Y, Uematsu H, Yamada K, Ushida T. Socioeconomic value of intervention for chronic pain. *J Anesth.* 30(4):553-61,2016
11. Aso K, Izumi M, Sugimura N, Okanoue Y, Ushida T, Ikeuchi M. Nociceptive phenotype alterations of dorsal root ganglia neurons innervating the subchondral bone in osteoarthritic rat knee joints. *Osteoarthritis Cartilage.* 24(9):1596-603,2016
12. Inoue S, Sluka K. Testosterone protect against development of chronic widespread fatigue-induced muscle pain. *J Pain.* 17(4S):S68, 2016

原著（和文）

1. 城 由起子, 下 和弘, 松原 貴子, 牛田 享宏
地域在住高齢者の運動器慢性痛と身体活動の関係
J Musculoskeletal Pain Res. 8:108-115, 2016
2. 近藤 ゆき, 坂野 裕洋, 豊田 慎一, 横山 愛良, 柳瀬 準, 松原 貴子
慢性痛有訴者の不安・抑うつが痛覚感受性および脊髄前角細胞の侵害刺激応答に及ぼす影響
J Musculoskeletal Pain Res. 8:116-122, 2016
3. 久野 智史, 坂野 裕洋, 遠藤 城太郎, 浅野 彰教, 嶋 祥理, 松原 貴子
脊椎圧迫骨折患者による外傷性腰痛の変遷と catastrophizing との関係性
Pain Rehabilitation. 6(1):33-40, 2016
4. 下 和弘, 梶田 比奈子, 鈴木 千春, 西原 真理, 畠山 登, 牛田 享宏
集学的治療において理学療法が有効であった症例の治療経験
Journal of Musculoskeletal Pain Research. 8(2):123-30, 2016

学会（国際）

1. Matsubara T, Yamaguchi S, Fujii Y, Suzuki T, Nakada K, Yamamoto A, Kurachi T, Shiro Y.
Effects of rhythmic aerobic exercise on endogenous pain modulation and mood states in subjects with chronic neck pain and healthy controls
16th World Congress on Pain (IASP). Yokohama, Japan, 2016.9
2. Shiro Y, Terasawa Y, Ueda Y, Shimo K, Matsubara T.
Influence of physical activity on conditioned pain modulation
16th World Congress on Pain (IASP). Yokohama, Japan, 2016.9
3. Makino N, Yamaguchi S, Matsuzawa A, Suzuki T, Fujii Y, Shiro Y, Matsubara T.
Endogenous pain modulation and pain sensitivity evaluated with quantitative sensory testing : comparing subjects with chronic neck pain to healthy matched controls
16th World Congress on Pain (IASP). Yokohama, Japan, 2016.9
4. Makino I, Arai Y-C, Aono S, Nishihara M, Ushida T, Ikemoto T, Matsubara T.
Jaw exercise therapy and psychoeducation to reduce oral parafunctional activities for the management of persistent dentoalveolar pain
16th World Congress on Pain (IASP). Yokohama, Japan, 2016.9
5. Sakurai H, Inoue M, Inoue S, Ikemoto T, Arai Y-C, Nakata M, Nishihara M, Hatakeyama N, Shimo K, Miyagawa H, Hasegawa T, Hasegawa Y, Ohmichi Y, Suzuki C, Sato J, Ushida T.
Improvement of body image in chronic pain patients after multidisciplinary group treatment program.
16th World Congress on Pain(IASP). Yokohama, Japan, 2016.9
6. Sato J, Aono S, Sakurai H, Saito A, Toda M, Ushida T.
Lowered Threshold for Self-Motion Perception to Galvanic Vestibular Stimulation in Patients Suffering from Weather-Related Pain
16th World Congress on Pain(IASP). Yokohama, Japan, 2016.9
7. Shiro Y, Terasawa Y, Ueda Y, Shimo K, Matsubara T.
Influence of physical activity on conditioned pain modulation
16th World Congress on Pain(IASP). Yokohama, Japan, 2016.9
8. Inoue M, Ikemoto T, Inoue S, Nakata M, Nishihara M, Arai Y-C, Miyagawa H, Shimo K, Iida H, Hasegawa T, Wakabayashi T, Sakurai H, Hasegawa Y, Hatakeyama N, Ushida T.
Analysis Of Follow-up Data In Outpatient Pain Management Program For Refractory Chronic Pain
16th World Congress on Pain(IASP). Yokohama, Japan, 2016.9
9. Mizutani M, Ushida T, Nishihara M.
Hypnosis for chronic pain patients

16th World Congress on Pain(IASP). Yokohama, Japan, 2016.9

学会（国内）

1. 城 由起子, 小笠原 陽子, 下 和弘, 松原 貴子, 牛田 享宏
地域在住高齢者に対する DVD を用いた運動導入が慢性疼痛と身体機能に及ぼす影響
第 45 回日本慢性疼痛学会. 佐賀市, 2016.2
2. 西原 真理
慢性疼痛における精神医学的問題 睡眠障害を含めて再考する
第 45 回日本慢性疼痛学会. 佐賀市, 2016.2
3. 牛田 享宏
運動器慢性痛の病態と治療
第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会. 横浜市, 2016.4
4. 折田 純久, 大鳥 精司, 山下 敏彦, 米延 策雄, 川上 守, 田口 敏彦, 菊地 臣一, 牛田 享宏, 紺野 慎一, 中村 雅也, 高橋 和久
腰椎疾患における神経障害性疼痛の特徴 脊椎関連慢性疼痛患者における神経障害性疼痛有病率調査サブ解析より
第 89 回日本整形外科学会学術総会. 横浜市, 2016.5
5. 泉 仁, 川崎 元敬, 池内 昌彦, 牛田 享宏
変形性膝関節症の痛みに対する新しいピンポイント治療 MR ガイド下集束超音波の効果と安全性
第 89 回日本整形外科学会学術総会. 横浜市, 2016.5
6. 井上 雅之, 池本 竜則, 井上 真輔, 中田 昌敏, 西原 真理, 新井 健一, 泉 仁, 宮川 博文, 櫻井 博紀, 畠山 登, 牛田 享宏
難治性慢性痛患者に対する学際的ペインマネジメントプログラムによるロコモティブシンドロームへの影響
第 89 回日本整形外科学会学術総会. 横浜市, 2016.5
7. 牛田 享宏
疼痛に対する IVR 疼痛 発症・維持のメカニズム
第 45 回日本 IVR 学会総会. 名古屋市, 2016.5
8. 川崎 元敬, 南場 寛文, 泉 仁, 武政 龍一, 池内 昌彦, 牛田 享宏
超音波治療の臨床応用最前線 MRgFUS による骨・関節由来の痛みの緩和治療
第 89 回日本超音波医学会学術集会. 京都府, 2016.5
9. 川崎 元敬, 南場 寛文, 泉 仁, 武政 龍一, 池内 昌彦, 牛田 享宏
超音波治療の効果判定とその臨床経過観察 骨・関節に対する超音波治療のモニタリング
(Application of Therapeutic Ultrasound and Monitoring Its Clinical Outcome Therapeutic

monitoring of MRgFUS for the bone and joint diseases)(英語)

第 89 回日本超音波医学会学術集会. 京都府, 2016.5

10. 泉 仁, 池内 昌彦, 羽瀨 弘子, 羽瀨 脩躬, 牛田 享宏
マスト細胞浸潤が変形性関節症モデルの痛みに及ぼす影響
第 89 回日本整形外科学会学術総会. 横浜市, 2016.5
11. 井上 雅之, 池本 竜則, 井上 真輔, 中田 昌敏, 西原 真理, 新井 健一, 宮川 博文, 下 和弘, 飯田 博己, 長谷川 共美, 若林 淑子, 櫻井 博紀, 長谷川 義修, 畠山 登, 牛田 享宏
難治性慢性痛患者に対するペインマネジメントプログラムにおけるフォローアップデータの分析
第 51 回日本理学療法学会学術大会. 北海道, 2016.5
12. 櫻井 博紀
筋痛・筋圧痛の病態を探る. シンポジウム 2 (筋肉の痛み)
第 38 回日本疼痛学会. 札幌市, 2016.6
13. 牧野 泉, 青野 修一, 新井 健一, 西原 真理, 池本 竜則, 牛田 享宏 :
特発性歯痛患者と舌痛症患者の検証
第 38 回日本疼痛学会. 札幌市, 2016.6
14. 城 由起子, 下 和弘, 松原 貴子, 牛田 享宏
慢性痛を有する地域在住高齢者に対する教育とセルフエクササイズの効果
第 38 回日本疼痛学会. 札幌市, 2016.6
15. 佐藤 純, 青野 修一, 櫻井 博紀, 齋藤 愛子, 戸田 真弓, 牛田 享宏
気象病患者は前庭電気刺激(GVS)に対する感覚閾値が低下している
第 38 回日本疼痛学会. 札幌市, 2016.6
16. 西原 真理
神経障害性痛の病態を考える 神経障害性疼痛による脳と心への影響
第 50 回日本ペインクリニック学会. 横浜市, 2016.7
17. 奥野 祐次, 牛田 享宏
人工膝関節置換術の術後遺残疼痛に対するレスキュー治療としての微細血管塞栓療法について
日本ペインクリニック学会第 50 回大会. 横浜市, 2016.6
18. 牛田 享宏
痛治療の新しい考え方
日本ペインクリニック学会第 50 回大会. 横浜市, 2016.6
19. 池本 竜則, 宮川 博文, 牛田 享宏

変形性膝関節症における目的別アウトカムに対する生物心理社会因子の検討
第 38 回日本疼痛学会. 北海道, 2016.6

20. 水谷 みゆき, 牛田 享宏
慢性痛患者に対する催眠療法
第 38 回日本疼痛学会. 北海道, 2016.6
21. 牛田 享宏
運動と痛み 運動器疼痛医療の現況
第 38 回日本疼痛学会. 北海道, 2016.6
22. 櫻井 博紀, 佐藤 純, 牛田 享宏, 西村 直記, 岩瀬 敏
慢性痛患者における全身温冷曝露試験での自律神経応答
第 33 回生体制御学会学術集会. 名古屋市, 2016.8
23. 南場 寛文, 川川崎 元敬, 泉 仁, 喜安 克仁, 武政 龍一, 池内 昌彦, 牛田 享宏, 小泉 憲裕
有痛性骨転移と関節症性慢性痛に対する MR ガイド下集束超音波治療における局所の圧痛
閾値の変化
第 31 回日本整形外科基礎学術集会. 福岡県, 2016.10
24. 櫻井 博紀, 佐藤 純, 牛田 享宏, 西村 直記, 岩瀬 敏
慢性痛患者における全身温冷曝露試験での自律神経応答
第 34 回公益社団法人生体制御学会学術集会. 名古屋市, 2016.8
25. 下 和弘, 牛田 享宏, 西原 真理
家族病理が症状に大きく影響していると考えられた女兒 CRPS の 1 症例
第 127 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会. 松本市, 2016.9
26. 飯田 博己, 李 玉強, 木全 弘治, 木村 伸也, 牛田 享宏
マウス術後痛モデルの確立と疼痛の病態および発現遺伝子の検討
第 89 回日本生化学会大会. 仙台市, 2016.9
27. 長谷川 共美, 成定 明彦, 中東 真紀, 廣部 高明, 鈴木 孝太, 小林 章雄, 池本 竜則, 新井
健一, 牛田 享宏
成人肥満男性への自律訓練法による交感神経抑制が血中レプチン値に与える影響
第 37 回日本肥満研究. 東京都, 2016.10
28. 下 和弘, 池本 竜則, 牛田 享宏
理学療法士管理下での患者教育と運動療法を組み合わせた慢性痛集団療法プログラムの試
み
第 21 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会. 名古屋市, 2016.10
29. 下 和弘, 池本 竜則, 牛田 享宏

理学療法士管理下の患者教育及び運動療法を組み合わせた集団療法の繰り返しは慢性痛患者の破局的思考を改善させる

第9回日本運動器疼痛学会学術大会. 東京都, 2016.11

30. 下 和弘, 梶田 比奈子, 鈴木 千春, 西原 真理, 畠山 登, 牛田 享宏
集学的治療において理学療法が有効であった慢性痛症例の治療経験
第51回日本理学療法学術大会. 札幌市, 2016.5
31. 宮川 博文, 池本 竜則, 赤尾 真知子, 北本 和督, 辻本 朋也, 出家 正隆, 牛田 享宏
膝 OA 患者の患者立脚型アウトカムと形態, 運動, 精神・心理機能との関係
第9回日本運動器疼痛学会学術大会. 東京都, 2016.11
32. 三木 健司, 池本 竜則, 新井 健一, 関口 美穂, 史 賢林, 牛田 享宏
運動器急性痛患者群と慢性痛患者群との特徴の比較
第9回日本運動器疼痛学会学術大会. 東京都, 2016.11
33. 宮川 博文, 池本 竜則, 赤尾 真知子, 辻本 朋哉, 牛田 享宏
変形性膝関節症における患者立脚型アウトカムの影響因子
第51回日本理学療法学術大会. 札幌市, 2016.5
34. 牛田 享宏
慢性痛の治療 up-to-date
日本臨床麻酔学会第36回大会. 高知県, 2016.11
35. 牧野 泉, 青野 修一, 新井 健一, 西原 真理, 池本 竜則, 牛田 享宏
長期化した顎関節症患者に対して運動療法を行い症状が改善した1症例
第9回日本運動器疼痛学会学術大会. 東京都, 2016.11
36. 井上 雅之, 池本 竜則, 中田 昌敏, 新井 健一, 西原 真理, 下 和弘, 若林 淑子, 畠山 登,
牛田 享宏
ペインマネジメントプログラム参加者における身体活動量の変化
第21回日本ペインリハビリテーション学会学術大会. 名古屋市, 2016.10
37. 西原 真理, 青野 修一, 城 由起子, 牛田 享宏
複合性局所疼痛患者における注視行動の変化
第46回日本臨床神経生理学会学術大会. 郡山市, 2016.10
38. 牧野 泉, 青野 修一, 新井 健一, 西原 真理, 池本 竜則, 牛田 享宏
長期化した顎関節症患者に対して運動療法を行い症状が改善した1症例
第9回日本運動器疼痛学会学術大会. 東京都, 2016.11
39. 井上 雅之, 池本 竜則, 中田 昌敏, 西原 真理, 新井 健一, 井上 真輔, 宮川 博文, 下 和
弘, 櫻井 博紀, 飯田 博己, 若林 淑子, 長谷川 共美, 長谷川 義修, 畠山 登, 牛田 享宏

難治性慢性痛患者に対するペインマネジメントプログラムによる身体活動量への影響について

第9回日本運動器疼痛学会学術大会. 東京都, 2016.11

40. 城 由起子, 池本 竜則, 寺澤 雄太, 松原 貴子
Conditioned Pain Modulation に影響する因子の検討
第9回日本運動器疼痛学会学術大会. 東京都, 2016.11
41. 泉 仁, 池内 昌彦, 羽瀧 弘子, 羽瀧 脩躬, 牛田 享宏
変形性関節症モデルにおけるマスト細胞の役割
第9回日本運動器疼痛学会学術大会. 東京都, 2016.11

講演会

1. 松原 貴子
慢性痛のリハビリテーション戦略
高知いたみの研究会セミナー・特別講演 2. 高知市, 2016.1
2. 牛田 享宏
山梨県医師会 HPV 研修会. 山梨県, 2016.1
3. 牛田 享宏
機能性疼痛と慢性痛の病態：主に機能性障害について
市整会学術講演会. 静岡県, 2016.1
4. 牛田 享宏
機能性疼痛の神経メカニズム
中部ロコモサイコソマ研究会. 名古屋市, 2016.2
5. 牛田 享宏
長引く痛みの治療への考え方
東信疼痛セミナー特別講演. 長野県, 2016.2
6. 牛田 享宏
NPO いたみラボ医療者研修会講師. 東京都, 2016.2
7. 松原 貴子
Pain Rehabilitation
大阪府理学療法士会・特別研修会. 大阪市, 2016.2
8. 佐藤 純
天気痛ドクターが語る気象病 2
朝日カルチャーセンター. 東京都, 2016.2

9. 西原 真理
慢性疼痛における精神医学的問題～睡眠障害を含めて再考する
第 45 階日本慢性疼痛学会ランチョンセミナー 1. 佐賀県, 2016.2
10. 西原 真理
脳と心、そして痛み～より良い治療を目指して
東海・北陸ペインクリニック学会第 23 回北陸地方会. 富山県, 2016.3
11. 佐藤 純
健康不安と気象とのメカニズム
三重県栄養士会研究発表研修会. 三重県, 2016.3
12. 松原 貴子
ペインリハビリテーションと理学療法
静岡県理学療法士会・専門領域（神経系専門部会）講習会. 富士市, 2016.3
13. 松原 貴子
ペインクリニックとペインリハビリテーションのさらなる連携を求めて
Pain Management Workshop（名古屋市立大学・名古屋市大学麻酔科）・特別講演. 名古屋市,
2016.3
14. 松原 貴子
運動による疼痛抑制の神経メカニズムと臨床応用
痛みとりハビリテーション懇話会～これからの理学療法士の役割～・特別講演. 藤沢市,
2016.3
15. 牛田 享宏
瘢痕と運動器痛
生化学工業社内講演会. 東京都, 2016.3
16. 牛田 享宏
難治性疼痛に対する集学的治療
運動器慢性疼痛フォーラム in 南大阪特別講演. 大阪市, 2016.3
17. 牛田 享宏
ひざ、こし、くびの長引く痛みとその対応
平成 27 年度日進市介護予防講演会. 愛知県, 2016.3
18. 牛田 享宏
新しい痛みの概念とその医療
第 1 回慢性の痛み関連患者会・患者支援者リーダー研修会. 東京都, 2016.3
19. 牛田 享宏

運動器慢性疼痛の病態と対応
関西 MIST 研究会. 大阪, 2016.4

20. 牛田 享宏
運動器の痛みと神経機能変化
高知地域医療連携会. 高知, 2016.4
21. 牛田 享宏
運動器慢性痛の病態と治療
第 60 回日本リウマチ学会 Meet the Expert. 神奈川, 2016.4
22. 佐藤 純
第 1 回 天気と痛み
「気象病」の仕組みと対処法 痛み・うつ・めまい ほか (全 3 回) . 名古屋市, 2016.4
23. 佐藤 純
第 2 回 天気とうつ症状, 何となく不調
「気象病」の仕組みと対処法 痛み・うつ・めまい ほか (全 3 回) . 名古屋市, 2016.5
24. 松原 貴子
リハビリテーションで疼痛は緩和できるかーペインリハビリテーションの有効性と課題ー
第 26 回中国四国ペインクリニック学会・サテライトセミナー「第 14 回中国四国塾」. 岡山市, 2016.5
25. 西原 真理
南圭会研修会痛みの基礎と臨床～うつ病との関係も含めて～
愛知県, 2016.5
26. 松原 貴子
運動療法は痛み診療の first-line となりうるか?ー運動は痛みを起こすのか鎮めるのか
(Exercise-induced hyperalgesia or hypoalgesia) ?
痛みとリハビリテーション懇話会～これからの理学療法士の役割～. 伊勢原市, 2016.5
27. 牛田 享宏
慢性痛に対する集学的治療
Chronic Pain Seminar in Masue. 島根県, 2016.5
28. 牛田 享宏
機能的疼痛の神経メカニズム
第 9 回下関疼痛研究会特別講演. 山口県, 2016.5
29. 牛田 享宏
Chronic Pain : Problems and Approaches
第 26 回日韓合同整形外科シンポジウムランチョンセミナー. 岡山県, 2016.5

30. 牛田 享宏
疼痛に対する IVR：疼痛・発症・維持のメカニズム
第 45 回日本 IVR 学会総会シンポジウム. 名古屋市, 2016.5
31. 牛田 享宏
難治性疼痛患者の分析と対応
第 9 回名古屋市予防接種研究会. 名古屋市, 2016.5
32. 牛田 享宏
慢性痛への対応
NHK きょうの健康. 東京都, 2016.6
33. 牛田 享宏
神経障害性疼痛の多面的な分析と治療
Pain Collaboration Semminar. 京都府, 2016.6
34. 牛田 享宏
RE-MOVE 第 1 回編集委員会. 名古屋市, 2016.6
35. 牛田 享宏
運動器慢性疼痛医療の現況
第 38 回日本疼痛学会ペインコンソーシアム 運動と痛み. 北海道, 2016.6
36. 松原 貴子
慢性痛の精神・神経生理学的メカニズムと理学療法の有効性
福島県理学療法士会・県北支部学術局研修会. 福島市, 2016.6
37. 松原 貴子
ペインリハビリテーションの基礎から臨床応用まで
諏訪湖リハビリテーション研究会・講演. 諏訪市, 2016.6
38. 佐藤 純
第 3 回 天気とうつ症状, 何となく不調
「気象病」の仕組みと対処法 痛み・うつ・めまい ほか (全 3 回). 名古屋市, 2016.6
39. 佐藤 純
雨が降ると痛み, うつ, めまいが出るのはなぜ??
市民健康館 さら・さくら 健康講演会. 犬山市, 2016.7
40. 牛田 享宏
腰痛治療の新しい考え方
日本ペインクリニック学会第 50 回大会リフレッシュャーコース . 横浜市, 2016.7

41. 牛田 享宏
慢性痛に対する対処法
第1回文京骨と痛みのセミナー. 東京都, 2016.7
42. 牛田 享宏
ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る研修会. 東京都, 2016.7
43. 牛田 享宏
神経障害性疼痛のメカニズム
郡山糖尿病合併症研究会 2016. 福島県, 2016.7
44. 牛田 享宏
平成28年度愛知県地区教育委員会連絡協議会研修会講演. 愛知県, 2016.7
45. 牛田 享宏
神経機能変化：機能性の痛み
第3回包括的緩和医療科学学術研究会・第4回Tokyo疼痛緩和次世代研究会合同研究会.
東京都, 2016.8
46. 松原 貴子
運動による疼痛抑制の神経メカニズムと臨床応用
第3回大阪疼痛治療研究会・特別講演II. 大阪市, 2016.9
47. 西原 真理
痛みの神経科学と精神医学～脊椎の痛みを含めて～
脊椎の痛みを学ぶ会～東海ブロック～. 愛知県, 2016.9
48. 松原 貴子
運動による疼痛抑制の神経メカニズムと臨床応用
星城大学リハビリテーション研究会. 東海市, 2016.9
49. 佐藤 純
天気変化による頭痛悪化のメカニズム
脳神経松下村塾. 山口県, 2016.9
50. 牛田 享宏
脊椎脊髄領域の慢性痛の病態と治療
第24回日本腰痛学会イブニングセミナー. 山梨県, 2016.9
51. 松原 貴子
運動器の慢性痛に対するリハビリテーション戦略－有効性と神経メカニズムを探る－
痛みとりハビリテーション研究会. 藤沢市, 2016.9

52. 牛田 享宏
痛みの慢性化に見られる神経機能変化
第 8 回日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医資格継続のための研修会. 東京都, 2016.9
53. 牛田 享宏
Low Back Pain and Musculoskeletal Pain
International Association for the Study of Pain (IASP) リフレッシュャーコース 10. 横浜市, 2016.9
54. 牛田 享宏
Disuse/immobilization associated pain and sensory motor dysfunction
International Association for the Study of Pain (IASP) Topical workshop The Two Extremes: The Effect of Disuse and Exercise. 横浜市, 2016.9
55. 城 由起子
運動療法による中枢性疼痛修飾機能への影響
日本線維筋痛症学会 第 8 回学術大会 シンポジウム. 東京都, 2016.9
56. 牛田 享宏
運動器の慢性疼痛－その病態と治療の進歩－
VIVA! ORTHO 第 6 号座談会. 東京都, 2016.10
57. 牛田 享宏
長引くからだの痛みの原因とその対処
星が丘テラス講演. 名古屋市, 2016.10
58. 牛田 享宏
運動器慢性痛の治療：アップデート
第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会モーニングセミナー. 福岡県, 2016.10
59. 牛田 享宏
神経障害性疼痛の多面的な分析と治療
徳島 Pain Forum 2016 . 徳島県, 2016.10
60. 牛田 享宏
痛みと上手な付き合い方～後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症、広範脊柱管狭窄症等患者およびその家族
平成 28 年度難病医療講演会. 香川県, 2016.10
61. 松原 貴子
慢性痛に対する理学療法
第 51 回日本理学療法士協会全国学術研修大会・「緩和」. 宜野湾市, 2016.10

62. 松原 貴子
リハビリテーションで痛みを緩和できるのかー知っておきたいペインリハスキルー
第6回札幌脊椎脊髄疼痛フォーラム・特別講演2. 札幌市, 2016.10
63. 松原 貴子
運動器疼痛に対する運動療法の有効性ー運動の疼痛抑制メカニズムと臨床応用ー
姫路整形外科慢性疼痛研究会. 姫路市, 2016.10
64. 松原 貴子
ペインリハビリテーションの潮流
第21回日本ペインリハビリテーション学会・会長講演. 名古屋市, 2016.10
65. 城 由起子
運動療法による疼痛修飾システム制御
第21回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 シンポジウム. 名古屋市, 2016.10
66. 佐藤 純
天気が崩れるときに痛むのはなぜ？
名城大学理工学部第417回理工懇談会. 名古屋市, 2016.11
67. 牛田 享宏
慢性痛の治療～up-to-date
日本臨床麻酔学会第36回大会招請講演. 高知県, 2016.11
68. 牛田 享宏
脊椎脊髄疾患の保存的治療
痛みの包括治療講演会～骨粗鬆症編～特別講演. 岐阜県, 2016.11
69. 牛田 享宏
整形外科・麻酔科・精神科専門医から見た慢性腰痛マネジメント
第9回日本運動器疼痛学会ランチョンセミナー 対談. 東京都, 2016.11
70. 牛田 享宏
痛みのメカニズムと治療
第2回痛みのケア研究会. 愛知県, 2016.12
71. 牛田 享宏
慢性痛のメカニズムと治療
名東区医師会学術講演会. 名古屋市, 2016.12
72. 松原 貴子
明日からできる！運動療法と認知行動療法のはじめ方
慢性疼痛治療セミナー・講演. 東京都, 2016.12

73. 松原 貴子
慢性痛の神経メカニズムとリハビリテーションの有効性～基礎から臨床応用まで～
神戸医療福祉専門学校三田校同窓会・講演会. 三田市, 2016.12

メディア

1. 牛田享宏子
宮頸がん
医療ルネサンス（読売新聞）. 2016.2
2. 佐藤 純
「天気痛」のナゾ
クロノス（東京 FM）. 2016.2
3. 佐藤 純
天気痛
BAYFM. 2016.2
4. 佐藤 純
病は天気から！？あなたを蝕む気象病最前線
ビーバップ！ハイヒール（朝日放送）. 2016.3
5. 佐藤 純
気象の変化で体調を崩す人がいるのはなぜ？“気象病”から逃れるための5つのコツとは・・・
おとなのからだゼミナール（日経グッデイ）. 2016.4
6. 佐藤 純
天気痛を防ぐための4つの生活習慣 知っておこう！梅雨時季は要注意！体調不良の原因は「天気痛」かも
Essence Tips（ESSE）. 2016.4
7. 牛田享宏
HPV ワクチンを打った後、長引く心身の不調を訴える患者さんの診療
yomiDr.（読売新聞）. 2016.9